



寄って話して 自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

親しらず 子しらず

～親子関係を振り返る～



イラスト：うじな かずひこ

中学生・高校生など青少年の時期は、自分の親でさえも口うるさく感じる
ことがあります。

「親になるって、どんな気持ちなのだろう」「親になったら、どんな生活が待
っているのだろう」…将来の自分の姿を想像してみましょう。

自分と親との関係にも、少しは変化が現れるかも！？

広島県教育委員会

親の役割とはどのようなことだと思いますか。三つ挙げてみましょう。

- ①
- ②
- ③

- あなたの親（保護者）も、昔は、あなたと同じような若い時期がありました。もしかしたら、あなたと同じように、自分の親（保護者）のことを口うるさく感じていたかもしれません。
- 機会があれば、このワークシートを親（保護者）に見せて、一緒に話をしてみましょう。家庭内での約束やお互いの思いについて、ゆっくりおしゃべりしてみるといいですね。

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

県民の皆さんの声（広島県教育モニターアンケートより）

◆高校生の娘に関しては、何をしてもうまくいきません。干渉しないことで、自分の精神安定を図っています。

◆わが道を行くタイプの息子はどんなハプニングを起こすのかひやひやの毎日でした。人がみればしつけができてないと思われていたと思います。しかし、なんにでも興味を持って走り回る彼を止めることはできませんでした。中3になった今、想像以上に物事を深く考えている事が、びっくりすることもあります。無理に押さえつけなくてよかったと今では思っています。



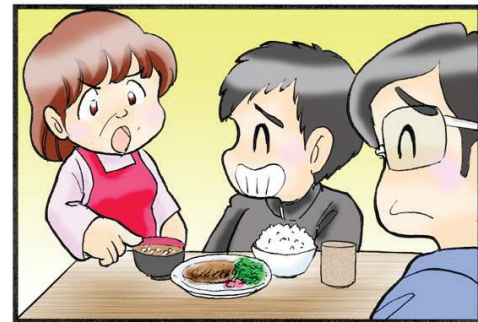
お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47 広島県立生涯学習センター
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

エピソードを読みましょう



- ① ダイスケくんは高校二年生、野球部のキャプテン。少ない部員ですが、「夏の1勝」めざして、毎晩7時まで練習しています。
練習後はおなかが減るので、帰り道みんなでコンビニエンスストアに寄って、肉まんなどを食べながらしゃべって、8時ごろ家に帰ります。

家ではてんこ盛りのごはんとおかずが…でも全部食べられないこともあります。



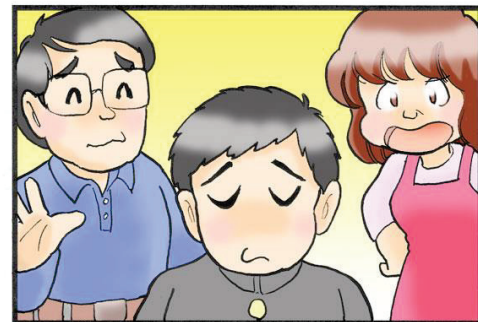
- ② 母「どうして毎晩食べて帰るの、お母さん一生懸命作ってるのに！ 第一お金がもったいないでしょ！」
ダイスケ「つきあいよ、つきあい」
父「友だちつきあいは大事だからな」
母「あなたは黙って！ ダイちゃん全部食べなさいよ」
ダイスケ「うちのごはん、量が多いんだよ！」
母「全部食べたら栄養バランスバッチリだからね。野菜もよ！」
ダイスケ「はいはい、全部食べたらいいでしょ。ふーっ…」



- ③ そこへ彼女から携帯電話が…。アルバイトが9時に終わるので、毎晩、バイト先から家まで送りに行っているのです。
ダイスケ「ちょっと行ってくるね」
母「もう、なんで他人の子を毎晩送らないといけないの！ うちの大事なダイちゃんなのに…」
父「母さんも子離れしないと。気をつけて無事送り届けて来いよ」

- 母「あなたは調子がいいんだから、もう！！」
ダイスケ「じゃ、行ってくるわ！ 帰って全部食べるから」
母「勉強もしなさいよ！」
父「今言わなくても…」
3人「ふーっ…」

いつもどおり、毎晩の光景です。



考えましょう,出し合しましょう

- ① あなたの家で、似たようなことはありませんか。具体的に書いてみましょう。

- ② ダイスケくんの母親、父親についてどう思いますか。

- ③ ダイスケくんになったつもりで、気持ちを母親、父親に伝えましょう。

- ④ もしあなたが親になったら、このような場面で子供になんと言うでしょうか。想像して書いてみましょう。